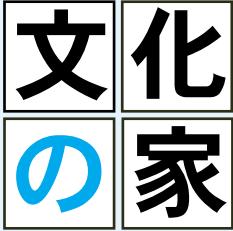


NAGAKUTE
Cultural
Center
Informational
magazine

文	化
の	家



この情報誌では文化の家が行なう事業や文化の家で展開されるさまざまな活動を紹介するとともに町の芸術文化情報をお知らせします。

CONTENTS

○ 特集	2
芸術で生きる～中高生のための道案内	
○ TOPICS	8
○ INFORMATION	10



芸術で

小さな子どもの頃は、目に映る大人の仕事はどれも魅力的で、どんなものでも一度は憧れを抱きます。ケーキ屋さんや、おもちゃ屋さんになりたかったり、アイドルになりたかったり。

やがて、自分の性格や好みが形作られていくうちに、だんだんなりたい職業が決まってきます。

そして中学生になると、進路指導や高校受験などがあり、それまで漠然と思っていた将来の職業が、現実の問題として現れます。

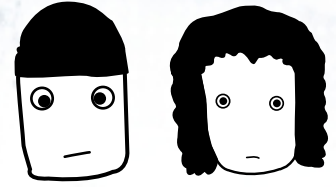
そんなとき、例えば画家になりたいと思ったり、音楽家になりたいと思ったとき、どんな勉強をして、どんな学校に行けばよいのか？

その答えの一つとして、今芸術の仕事に携わっている方々にアンケートを行い、いただいた回答をご紹介します。アンケートに協力していただいたのは、文化の家の創造スタッフ、アトリビング講座の講師の皆さん、町劇団、町合唱団の指導者の方々と職員。音楽家、画家、料理研究家から舞台の裏方などそれぞれの方が歩んださまざまな道をご覧いただき、これから歩む道の参考になればと思います。

アンケート項目

1. 氏名
2. 職業または仕事の内容
3. その職業または仕事の良いところ、悪いところ
4. 現在の職業に至るまでの経緯
いつ頃その職に就く決心をしたのか？
そのためにどのような学習、訓練をしたのか？など
5. 同じ職業を目指す人へのアドバイス
(中学生ぐらいを想定して)

生まる ～中高生のための道案内



音楽系

1. **渡部 真理** (町合唱団ニューセンチュリーコーラス Nagakuteピアニスト)
2. ピアニスト 音楽講師
3. 良いところ：自分の学んだことや経験を活かせる場であること。
悪いところ：夜間の仕事で、遅い時間の帰宅となること。
4. 職業としてはこの仕事だけではなく、掛け持ちでいろいろな合唱団の伴奏をしたり、大学・短大の非常勤講師をしています。この仕事に就くための訓練を特別に受けた訳ではなく、物心つく頃から習っていたピアノをずっと続けてさまざまな経験を重ねながら今にいたっています。
5. 私自身は音楽科の無い普通高校から音大・大学院に進みましたが、ピアノに限らず音楽方面に進む場合、多くの練習時間が必要なため、とかく視野が狭くなりがちだと思います。常に興味や向上心を持って視野や教養を広げること、また、誰かと一緒に楽しく音楽を創り上げて行くという心の持ち方をすることが大切だと思います。

1. **近藤 茂之** (町合唱団ニューセンチュリーコーラス Nagakuteピアニスト)
2. 名古屋短期大学保育科専任講師 保育者を目指す学生にピアノや歌を指導しています。長久手町ではセンチュリーコーラスの伴奏者を団の設立以来務めています。
3. 良いところ：教員の様々な仕事や学生との交流を通して、社会人として幅広い経験をしたり新たな知識を得たりすることができます。
悪いところ：音楽以外の仕事をたくさんこなさなければならぬので、ピアノを練習する時間的な余裕がなかなか持てないことです。
4. 大学・大学院でピアノを専攻した後、高校・短大の非常勤講師を経て現在の仕事に就きました。音楽人である前に一人の社会人として経済的、精神的に自立したくてこの道を選びました。同期の多くは音楽家として活躍していますが、私自身はこの道を選んでよかったと思っています。
5. 専門的な力だけでなく、日ごろから様々な分野に興味や関心を示し、幅広い視野を持って学習して下さい。そして、決して「芸術バカ」になることのないよう、日々人間的にも成長して行ってほしいと思います。

1. **宇佐美 敦博** (文化の家創造スタッフ アートリビング 講座 フルート リコーダー 楽譜 講師)
2. フルート奏者 フルート講師
3. 良いところ：人は、忙しい毎日の中で『本当に大切なもの』を忘れがちになると思うのですが、よい音楽に

はそれを思い出させてくれる力があります。演奏会に来てくれたお客さんが幸せそうな顔で帰っていくのを見ると『これからもがんばろう!』と思います。
悪いところ：この仕事は収入を得ることがむずかしくて、生活がとても不安定だということ。

4. フルートは小学生のときから始めて、高1のときにプロを目指そうと思いました。それからはずっと、毎日4～8時間くらいの練習を続けています。音楽大学の受験生時代は、厳しいフルートのレッスンに加えて、ソルフェージュや楽典やピアノの試験の準備もしなくちゃいけなくて、つらかったです。
卒業後は少しずつ演奏実績を積み上げてきました。
5. 音楽家を目指す人はたくさんいますが、(たとえ音楽大学を卒業しても)演奏家として生計を立てられる人は、100人に1人もいないかも・・・
それでも『自分には音楽しかない』と思っている人は、どうしてなりたいたのか、どういう音楽活動をしたいのか、具体的によ～く考えてみましょう。
強い志と、練習を一生続ける覚悟と、よい先生との出会いが重要です!

1. **横田 真規子** (文化の家創造スタッフ アートリビング 講座 バイオリン 講師)
2. 音楽一般、ヴァイオリンの指導および演奏
3. 良いところ：自分の演奏で人に感動を与えたり、指導の結果、生徒が目に見えて上達していく姿を見ることができるところ。
悪いところ：演奏力を維持するため、常に練習をしなければならぬこと。
4. 小学校のころ、名古屋青少年交響楽団に入団した。それまで親に強制されて音楽を勉強してきたのが、入団を機に、音楽を演奏する楽しさを覚え、自主的に音楽科のある高校へ進学。音楽大学を経て今日に至る。
5. プロの音楽家とアマチュアの音楽家の違いは、音楽を職業にするか、しないかという点にあります。プロの音楽家は、音楽は楽しむためのものだけではなく、常に結果や批評が伴ったりします。プレッシャーに押しつぶされたり、競争に負けたりすることもあり、それに立ち向かえる強い意思が必要になってきます。しかし、それをすべてクリアして演奏したときの充実感やそれまでの苦しさをすべて帳消しにしてしまうくらいの感動と達成感を味わうことができます。自分の好きな音楽を一生の仕事としてやっていけるよう、誇りを持って日々精進してください。

演劇・舞踊

1. 佃 典彦 (町劇団座★NAGAKUTE指導者)
 2. 劇作家、俳優
 3. 良いところ：ほめてもらえる。
悪いところ：金がもうからない。人によるけど。
 4. 決心したのは大学4年の時。演劇部だった。
 5. やりたい様にやれば良いと思います。
1. はせ ひろいち (アトリビング講座 戯曲 講師)
 2. 劇作家・演出家
 3. 良いところ：自分の価値観、世界観でもって遠慮なく社会と対峙できること。
悪いところ：儲からない。いろいろな「贅沢」を諦めながら生きることになる。
 4. 最初は新聞社に5年間勤務。芝居との両立が難しい部署になり、苦渋の末退社。
コピーライターに転職し結構稼ぐが「バブル崩壊」と運命を共にし今に至る。
 5. 才能は経験で補えます。人との出会いが嫌いでないことと、自分の価値観に対してある種の柔軟性があること。誰でも書けます。誰でもなれます。
1. 川本 知枝 (文化の家創造スタッフ アトリビング講座 クラシックバレエ講師)

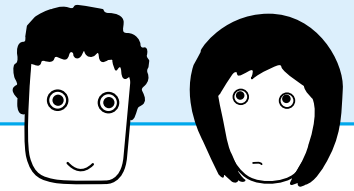
2. 舞踊家 バレエ教師
3. 良いところ：バレエを通して子どもから大人まで多くの方々と出会える機会があること。また、全く踊ったことのない人がレッスンを重ねるたびどんどん上達し、踊る楽しさを分かってもらえることが一番の喜びです。自分が踊ることに関しては、常に目標を持ってチャレンジし、1つ1つの舞台を終えるたび、喜び、くやしさを達成感を味わえることです。
悪いところ：レッスンを休むのは個人の自由ですが、あとで自分に降りかかってくるので、ほぼ毎日レッスンの時間が必要なこと。舞台を1つ終えるとまた次のリハーサルと、常に忙しく日々を送るので時間の余裕がないこと。
4. とにかく踊ることが大好き!! の言葉につきまします。それから、先生との出会い、環境の良さに恵まれていたこともこの仕事について理由の1つだと思います。
5. 私の場合、一番の優先がまずバレエなんです。常に向上心があること、そして肉体を使って表現することが、こんなに楽しく素晴らしいんだということ、言葉で、体で伝えたいという気持ちを持っていることが大切だと思います。

美術・生活芸術

1. 稲葉 佳子 (アトリビング講座 機織り 講師)
 2. 染織造形作家 アトリエ主宰
仕事は、手織りの作品制作です。作品の用途は室内空間 (インテリア) の演出を主な領域とし、また空間造形の作品の発表もする。
 3. 良いところ：作品制作が中心のため、時間をコントロールできること。布が生活に密着した素材であるので、私にとって仕事は身近と感じている。
悪いところ：作家として経済的自立がむずかしい。
 4. 学生時代 (芸大) に、素材や手仕事の美しさに触れたのがきっかけで、半独学で技術を習得。(大学にはコースが無かった) 必要に応じ直接訪ね学んだ (地場産業地、作家、他大学など)
卒業後、企業に就職したが、出産を機に作家へと転向した。
 5. 4に書いたように、学校へ行ったから学べるのではなく、自分が学びたいと思えばどこでも吸収できる。要は何がやりたく、また興味もてることにどれだけめり込めるかだと思う。そして継続は力なりです。
ps. 現在染織を取り巻く状況は多様化し、素材の開発は著しく、パソコンによるパターン展開また使用方法などこれから可能性のある職業だと思う。
1. 伊藤 雄治 (アトリビング講座 絵画 講師)
 2. 絵画 デッサンの仕事、高校美術非常勤講師
 3. デッサンの仕事の良いところは、大きな仕事場や高額な材料費は要らないところです。落ち着いた時間と日々仕事する時間が必要です。そのためには少々の孤独と貧乏も選び取っていかないといけないのかも知れません。

4. 大学2年のころ、〈デッサンが全てです〉という言葉がきっかけになりました。今も、できるだけデッサンに絞って仕事をしたいと思っています。人、畑、野原、木、草花、抽象、何か大切なものを見つけていく仕事としてのデッサンです。
自然に学ぶデッサンという意味と共に、デザインという意味も含めて考えています。
 5. 良い仕事は、絵画も彫刻も、探求の跡のある作品だと思います。詩を作り育てることのように、詩の下書き原稿のようなものもとても大切だと思います。
1. 雨森 晴子 (アトリビング講座 日本画入門 講師)
 2. 画家、愛知県立芸術大学模写事業従事
 3. 自分自身を1日1日積み重ねて勉強為て行く事全てが反映為る喜びと恐さの二面性を持つ仕事だと思います。
 4. 進路をまだ決めかね悩んで居た高2の冬、美術の最後の課題に、悩みや時間を忘れただ没頭し徹夜を為て作品を仕上げた朝に『もっともっと表現出来る様に成る勉強を為てみたい』と感じたのがきっかけで、高3の5月から美術研究所へ通い一浪し愛知芸大の日本画に入学、以来現在に至っても尚勉強は続いています。
 5. 最後まで自分を『諦めない』事が大切かと思っています。

1. 加藤 均 (文化の家創造スタッフ アトリビング講座 陶芸 講師)
2. 陶芸家
3. 良いところ 初心者の人に陶芸という楽しさを伝えることができる。
問題点 教えることの難しさ、作品が絶対成功するとい



う保証がないこと。

- 4.大学の彫刻科を卒業し、高校の講師を経験した後一般企業に就職しました。自分の時間をもっと有効に使わなくてはいけないと思い、陶芸教室というスペースをもちました。それから4年目で文化の家の創造スタッフとなり今年で8年目となりました。いろいろな公募展、有名な方の作品展を見学し、今の流れに合った作品づくりをしています。
- 5.芸術とは、社会的に利益の追求とは無関係のポジションであります。しかし才能だけではダメです。必ず努力と自己アピールをしていけばチャンスがあるはず。そのタイミングを絶対にものにしないと成功はありません。

- 1.山崎 祐美子 (アトリビング講座 フラワーデコレーション 講師)
2. (一般的には) フラワーコーディネーター (と言うのでしょうか)
フラワーアレンジメント講師、会場装花、ウェディング装花制作、その他花屋の仕事一般。
- 3.良いところ: 「花が嫌いな人は、(まず) いない」 (以前勤めていたお店の、店長の言葉)
悪いところ: 思い浮かばない、けど、この仕事に興味のない人にとっては、「朝は早いし、冬は寒いし、必需品じゃないし、(儲からないし) なんでやってるの?」と言うことでしょう。
- 4.大学で色彩学を学んで、「色」に携わる仕事なら何でも良かった、というのが本音。卒業後、家具店に就職するが、「違う」と思って趣味として、フラワーアレンジを習い始める。退職後、そのまま生花店にバイトとして入る。結婚し、子供が生まれてからもバイトを続けるが、時間的にも独身のときのように働かず、フリーに(格好良く言いすぎ!!)。
- 5.全ては繋がっている。興味のあることは、とりあえずやってみて。中学生の頃、私はアナウンサーになりたかったです、これは結構、本気でした。今は、時に講師として、人前で喋ってますけど。

- 1.中嶋 一恵 (アトリビング講座 おしゃれなパン教室 講師)
- 2.料理研究家(フードプランナー)
各種教室の講師(紅茶、中国茶、お菓子、パン、お料理、テーブルコーディネーター)
食・関連イベント・雑誌・飲食店の監修など。
- 3.良いところ: 参加者の方々が、楽しんでくださるところ。趣味が活かせ、向上心をもって、ずっと研究、勉強できる。
悪いところ: 不定休。雑用が多く、お金と時間がかかり、きりが無いこと。
- 4.大学在学中、パンやお菓子、茶道、華道などの教室へ通う。卒業後、某お料理教室で講師の募集があり、採用され専属講師へ。在勤中、休日などを利用してフラワー、テーブルコーディネーターなどの教室に通いスキルアップ。退職し、フリーに。現在にいたる。(お料理教室ラ・カカポ主宰)
お菓子、パン、調理師などの免許取得。英国で紅茶作

法を学ぶ。ル・コルドンブルー留学。近年、中国へ数回出向き、お茶のルーツ中国茶の探求中。等々。

- 5.食に関連する知識や技術は、とても大事ですが、センスや勘、ひらめき、雑学も必要です。いろいろなことに好奇心を持ってチャレンジしてください。

- 1.金森 三千加 (アトリビング講座 家庭料理 講師)
- 2.お料理初めての人に、簡単で美味しい家庭料理を基礎から指導。
- 3.美味しいものを食べると誰もが喜んでくれます。それが一番うれしい。問題は献立がマンネリ化しないようにということです。
- 4.子どもの頃から料理が大好きで、イカやアジなど自分でおろしていました。
社会に出てOLを数年していましたが、どうしても料理の先生になりたいと、会社をやめて学校に入り、栄養士の資格をとってこの道に進みました。給料はなくなっても自分の進路が決まったことで、心がすっきりとしたのを憶えています。
- 5.『カボチャ角切り300g、トマトジュース1缶(190g)、バター大さじ1を鍋に入れ、やわらかくなるまで煮る』。こんな簡単な料理でもいざやってみると、初めての人には分からない事がいっぱい出てきます。ここからが肝心、どうしたら上手くいくか挑戦しましょう。試行錯誤を繰り返すうちに「あっこれだ」と言ううれしい瞬間が必ずやってきます。料理がいっそ楽しくなり、自信につながってあなたを支えてくれますよ。
自分で稼ぐようになったら、本を読むだけでなく、いろいろな店のお料理も食べて、味や盛りつけの研究もしましょう。

- 1.澤村 佳代子 (文化の家創造スタッフ アトリビング講座 子ども美術 講師)
- 2.版画、絵画等制作、発表
- 3.好きなことをして、自分の名前で発表できること。
自分しだいで良い方にも悪い方にもいき、また、どの様にもなること。
- 4.高校2年頃、美術系に進路を決めて、研究所に通い大学の油画科に入学。
大学3年で版画のクラスを選び、技法、知識、制作への姿勢などを学んだ。美術講師、画廊勤務、美術とは無関係な仕事などいろいろしながら、制作、発表を重ねて現在に至る。
制作を続けていくことの厳しさや発表への責任感を感じだしたのは、学校を出て、一人で始めてからです。
- 5.これでやっていくという信念をもちつつ、何でもやってこやしにするタフさやしたたかさが必要なと感じています。
ひとまずは、目の前にあることに一生懸命取り組んでみてください。

- 1.川本 達志 (アトリビング講座 写真 講師)
- 2.プロカメラマン 写真撮影
- 3.良いところ: 人に感動と喜びを与えることができること。
悪いところ: 不規則な生活、体力が要る、視力が悪くなり、乱視になった。

- 4.家業が写真屋であったため、自然に親しんでいった。中学1年のとき、一眼レフカメラをもらって、撮影をはじめた。報道などの仕事(始めはアルバイト)で技術を高め、自信をつけた。
- 5.以前より撮影技術が要らなくなったので、セミプロが激増し競争が激しくなっている。これからは、集中力、体力、特に感性が必要とされるので、映像を観たり、音楽を聴いたり心を豊かにすること。よく遊ぶこと。

- 1.神原 健祐 (元 文化の家自主事業チラシデザイン)
- 2.グラフィックデザイナー (アシスタント)
企業や施設などのシンボルマーク、ロゴタイプ、CI計画、ポスター、パッケージ、ブックデザインなど、グラフィックを必要とする媒体全般。
3. 良いところ：自分のデザインしたものが量産され、たくさん人の目に触れること。発注者、消費者、デザイナーのコミュニケーションが上手くいったとき、つまり三者が満足できたときがデザイナーの醍醐味。
悪いこと：今のところ思い浮かびません。
4. 小学校の頃から絵を描くことや、ものを作ることが好きで漠然とデザインをする仕事に就きたいと思う。高校3年から美術大学を目指す人が集まる予備校へ通う。予備校では主に、デッサン、平面構成を学ぶ。一浪を経て愛知県立芸術大学に入学。卒業後、あるグラフィックデザイナーの元でアシスタントデザイナーとして働く。
- 5.世の中にはまだまだデザイナーがすべき仕事がたくさんあります。

世の中を変えてやろうというくらいの大きな気持ちと、高い志をもって励んでください。

- 1.木川 泰 (文化の家創造スタッフ アートリビング講座 デジタルカメラ パソコン 講師)
- 2.大学院生(博士課程、情報科学専攻) 一言でいえば「研究」。世の中で発見されていない、または使われていない理論・技術について、様々な角度から検証を重ねて新しい答えを導くところ。
- 3.良いところ：自分の力でより良い結果・答えを示すことができたときの喜び。また、自分から必要なことを勉強し、自分の力に変えていく充実感・達成感。
悪いところ：就職する際、職種の選択肢が狭くなること。ただし、研究・開発を目指している場合、これは大した問題ではないです。
- 4.私は大学院を経て、大学教員を目指しています。小学生、中学生の頃には、将来の事は漠然としていて、様々な可能性について常に考えていました。ですが、時代の流れもあり、技術をつけることを優先して高専に入学しました。ですがそこでは技術だけでもだめだと考え、さらに大学、大学院進学を考えました。その過程で教育者であり研究者である大学教員を目指すようになりました。
- 5.さまざまな情報に向けてアンテナを張ることが必要だと思います。「そんな選択肢知らなかったよ……」なんてことにならないように。そして情報を基に自分で決断していく。

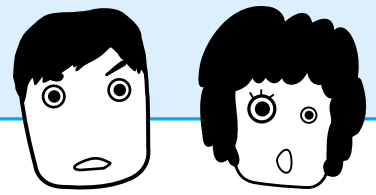
舞台技術・企画・制作など

- 1.初山 勝人 (文化の家事業係)
- 2.舞台管理(舞台、照明)、舞台運営(舞台監督、舞台照明プラン及びオペレーター)、制作
舞台管理：ホールの機材管理と利用者のサポート
舞台運営：舞台の円滑な進行を行なう。(舞台監督) 照明機材などを使い、舞台の各場面を考えて作っていく。(舞台照明)
制作：事業の選定から宣伝、集客、接遇、対応などなど、何でもやります。
- 3.良いところ：見聞が広められることと、様々な人と出会えること。
悪いところ：365日、仕事のことを考えていなくてはならないこと。お盆、正月がないこと。(今はあるけど)
- 4.お芝居をして(習っている)時に、裏方をやると役者の動きが良くわかるようになると言われて、お手伝いしてもらっていた舞台会社に就職する。当時の舞台は徒弟制度でしたので現場第一主義かな。
- 5.見て、聞いて、感じるココロがあれば誰でもできるのでは。後は経験と時間が助けてくれます。そして、感性は豊かに、水と木(緑)など自然の恵みをカラダいっぱい感じられることが必須です。

- 1.石野 俊匡 (文化の家事業係)
- 2.舞台管理(音響)
文化の家のホールの利用者が、よりホールを使いやす

- いように、音響面からサポートする仕事。
- 3.良いところ：自分の趣味(音楽)が活かせる時があること。撤収後、その日のスタッフから、笑顔で「またよろしく」と言われると、疲れが取れます。
悪いこと：仕事時間や休日が不規則なこと。
- 4.中学でギターを弾き始め、大学でバンド活動。いったん現在の仕事は無関係の仕事に就職するが、1年で挫折。退職後舞台技術の会社に就職。文化の家開館に伴う舞台技術者の募集の応募。現在にいたる。学生時代、コンサートの搬入・場内警備のアルバイトを数回と、簡単な機材の操作は覚えたが、後はすべて現場で覚えた。
- 5.文系、理系関係なくいろんなことに興味を持って、いろんな音楽を聞き、本を読んで、無駄と思えるようなことも楽しんでやってください。

- 1.生田 創 (文化の家事業係)
- 2.制作、舞台管理(音響)
制作：音楽系・舞踊系事業の企画・立案・運営
舞台：ホールの音響設備管理とオペレート、及び利用者のサポート
- 3.良いところ
制作：新しいアイデアを生かせるところ。
舞台：仕事が完結しているところ。
悪いところ
制作：常に思考していて、公私の区別がつきにくい。



舞台：管理という仕事柄、発想が限定されるところ。
4.子どもの頃からクラシックが好きで、大学時代にオーケストラの創立に携わり、常に音楽と一緒にありたいと思い、民間の会社で舞台音響を4年務める。舞台の技術・知識はゼロから始め、現場で習得。文化の家に転職後に制作の仕事も始める。6年間でホール公演を中心に、約60本の事業を担当する。ノウハウはすべて現場習得。
5.制作の仕事は、（例えば音楽が）心底好きであることに尽きると思います。また、それを生かすために、常に世の中の動きを知っておくと大きな武器になります。舞台の仕事は、とにかく現場ありきですので、場数を踏んで学ば他はありません。

- 1.永井 良典 (文化の家 舞台スタッフ)
- 2.舞台管理・舞台進行・委託操作員管理
舞台機構の操作・点検・管理、舞台備品の管理・修繕
舞台利用者との打合せ、舞台設営、催事の進行、労務管理・報告
- 3.良いところ：一つのものを作り上げる達成感、毎日違う仕事なので飽きない。
悪いところ：拘束時間が長い、土日は休めない、薄給、肉体労働
- 4.大学の先輩の紹介でアルバイトを始め、今に至る。
- 5.芸能の仕事と言うと、TVで見えるような派手なものが見られがちですが、しきたりを重んじ、礼儀作法などにうるさい縦社会なんです。
ですから、入って3年というのは、本当に心身ともにたいへんな思いをします。
先にあげたように、拘束時間が長く、土日が休めない＝友達や彼氏彼女に会えない。体力がないと馬鹿にされ、要領が悪いと怒鳴られる。
たくさん我慢が必要になります。
軽い気持ちではなく、信念を持っている人間でないと勤まらない職業です。

- 1.岩崎 直哉 (文化の家 舞台スタッフ)
- 2.舞台照明 仕事内容は色々なコンサートや演劇の公演で

来る照明スタッフに良い状態で使用してもらうため、照明器具や設備をメンテナンスしたり、そのスタッフにいい公演をしてもらうためのアドバイスやサポートの仕事、そして公演のスタッフが来ない場合は、私が照明器具を仕込んで、器具の操作をします。
3.良いところ：みんなでいろいろな公演を創り、盛り上げることや、その場に合わせた光(スポット)をいろいろなところに当てること。
4.高校時代にバンドをやっていて、そこから興味がわいて音響の専門学校に入ってなぜか照明係になっている。本当は録音の仕事をするはずだった??でも今この仕事を楽しくやっています。照明の勉強は会社に入って先輩から教えて貰ったり、その先輩の行動を観察して勉強したりしました。
5.機械いじりが好きで、色々な文化に興味を持って感動したり感銘できると、良いと思います。

- 1.香住 貴雄 (文化の家 舞台スタッフ)
- 2.舞台管理
ホール利用者がスムーズに気持ちよくイベントを進めていけるようお手伝いします。
- 3.良いところ：自分の「好き」が仕事になっている。また、いろいろな人との一期一会。
悪いところ：土日が忙しいので、友人たちと休みが合わない。
- 4.演劇関係の専門学校に進み、ラジオドラマやラジオDJの授業で音響に興味を持ち機材の使い方を覚える。その後、東京で役者をしつつ、フリーの音響屋として他劇団やお笑いライブの音響をオペレート。地元に戻り、今の会社で舞台管理の仕事に就くようになる。
- 5.学校で習うことはもちろんですが、習わないことのほうが大切かも。いろいろなことに興味を持って体験しよう。どんな小さいことでも、一つ一つの経験が役に立つはずです。

芸術で生きる

文化の家館長 川上 實

芸術は何か特殊なもの、特定の人たちのものと思われがちですが、この創造的ないとなみへの道は意外と広く、画家、音楽家だけではなく、演劇やオペラなど総合的な芸術の例でみれば作者や作曲家、演出家や指揮者、出演者や歌手たちはもちろんですが、このほかに観客の前には現れない舞台美術、照明、音響の専門家、メイクや衣装デザインの担当者も等しく創造的な役割を担っています。

こうした伝統的な分野に加えて最近さらには多くの道が開かれています。ここ四半世紀の間に芸術をめぐる状況が大きく変わった結果です。芸術が伝統的な狭い考え方から出て、自由で、生活現実に近い存在になり始めたのはもう少し前からですが、今日はメディア・アートや生活芸術の活況に象徴されるように、芸術は美術、音楽、演劇などといった狭い世界から脱してどんどん膨張しています。「芸術」よりは「アート」という言い方が適切な時代に入って、映像作家とかミュージシャン等々、多様な新しいジャンルの「アーティスト」が盛んに活躍するようになりました。

こうした動きにメディアの発展が大きく関わっていることは確かですが、あらゆる都市や町に見られるようになったホールや美術館、ライブやギャラリー、文化・芸術講座の盛んな活動も大きく寄与しているはず。ここ文化の家にもさまざまなジャンルの「アーティスト」、その活動を同じ創造的な面から肉付けしていくスタッフたちが大勢活躍しています。アートに生きるこの身近な人たちが、アートとの関わり方からアーティストゆえの喜びや悩みなど、プライバシーを超えてアンケートにお答えくださいました。ありがとうございました。

TOPICS

フィンランドの若手アーティストたちが、中学校の音楽室にやってきた！ エデュケーション・プログラム であーと2005 「ラ・テンペスタ・メンバーのおんがく教室」



より良い環境で音楽を！

去る6月30日（木）に、来日中のフィンランド・ラ・テンペスタ室内オーケストラのメンバーが、長久手町内にある2つの中学校を訪れ、音楽の授業を行いました。中学生といえば、いろいろなことへの関心や自覚が生まれる多感な時期。このエデュケーション・プログラムは、そんな生徒たちがより良い環境で最高の音楽を体験できることを第一の目的としています。体育館のような大きな場所ではなく、教室で、クラス単位で行うことが、第一条件です。事前に学校、アーティスト、文化の家の三者が何度も打合せを行い、長久手町として初めての試みが行われました。今回の編成は1st、2ndヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの5名。お話と通訳は、ラ・テンペスタのメンバーでもある梅村幸江さん（ヴァイオリン）と、最近までフィンランドに在住していた山内博史さん（トランペット奏者）が行い、メンバーからの厚い信頼と実体験に基づいたわかりやすいお話で、子どもたちとアーティストの橋渡し役となりました。

ゆるやかに、そして確実に出会いの時は訪れる

蒸し暑さがピークを迎えたこの日、「まるでサウナ」と汗をかきながら、中学校に到着したメンバーは、音楽室での3～4限の授業に臨みました。生徒さんたちは、日常の場に登場したメンバーたちを見て、ちょっと緊張した面持ち。それも束の間、演奏が始まるやいなや、すぐ目の前で繰り広げられる様子にくぎ付けになりました。メンバーたちもステージとは違った場所での演奏がとても新鮮だったらしく、笑顔がこぼれ、生徒さんたちも次第にリラックス。質問コーナーでは、手を挙げる人が後をたたない状態に。フィンランドのことから、楽器の値段、そしてプライベートなことまで……。メンバーからも生徒たちへのたくさんの質問が出て、音楽室はとても温かな雰囲気になりました。



アーティストも一人の人間

お昼は、メンバー一人一人が各クラスに入って一緒に給食！これは、逆にメンバーの方々が緊張の面持ち。フィンランドの人たちは実はとてもシャイな方たちでした。クラスによっては、どのようにもてなしてよいのか戸惑うひと幕もありましたが、中にはサインの列ができたり、記念撮影をするなど、国やアーティストと中学生、ということを超えて、お互いが「一人の人間」である、ということを感じたひとときでした。

ベルギーウィーク in 長久手

4月20日(水)から24日(日)の5日間、文化の家の森、風、光の各ホール、展示室、食文化室、ガレリアなどを使い、「ベルギーウィーク in 長久手」が行われました。



伊藤はじめ
シャンソン・コンサート

この催しは、2005年日本国際博覧会一市町村一国フレンドシップ事業の1つとして行われ、長久手町長はじめベルギー大使館関係者によるテープカットで幕を開けました。

文化の家東エントランスの大きなガラス面にはベルギーの国旗の色にあわせて、黒、黄、赤でそれぞれオランダ語、日本語、フランス語で国名が描かれ(オランダ語とフランス語はベルギーの公用語)、またガレリアにはいくつものベルギー国旗が飾られ雰囲気を盛り上げ、物産展では、ビールやチョコ等が売られ、多くの人で賑わいました。

初日は、森のホールで日本各地の、ベルギーの諸都市と姉妹都市提携をしている市町が集まり国際交流についてのパネルディスカッションを行い、それぞれの交流の様子を紹介し、今後さらに交流を深めるにはどうすればよいかなど、活発な意見交換がなされました。



クリスチャン・ブルヴィエ
& 井上美江子フルート・
ハーブコンサート



22日(金)は「伊藤はじめ シャンソン・コンサート」ベルギーが生んだシャンソンの巨匠 ジャック・ブレルの曲が演奏されました。

23日(土)は「クリスチャン・ブルヴィエ&井上美江子フルート・ハーブコンサート」ベルギー・アントワープ出身のフルーティスト クリスチャン・ブルヴィエのフルートと日本人ハーピスト井上美江子の二人による演奏で、繊細で澄み切った音色が、風のホールを充たし、まるで夢心地のひと時でした。箏曲の「春の海」をフルートとハーブで演奏するなど、一味違った曲も楽しめました。



バロックの宮廷
舞踏と古楽演奏

最終日24日(日)は、格調高く「バロックの宮廷舞踏と古楽演奏」で締めくくり。ルネサンス期からバロック期にかけての宮廷で踊られていたダンスを、当時のダンス譜から再現し、また、当時使われていた楽器リュートとヴィオラ・ダ・ガンバの演奏で行いました。

そのほか期間中、展示室では、アンティークレースと「バラの宮廷画家」と呼ばれたピエール・J・ルドゥーテの展示が行われました。

光のホールでは、16世紀のフランドル地方の画家ブリューゲルについての講演があり、バラの宮廷画家にちなみ、バラの歴史についての講演がありました。

また、食文化室では、ベルギーの家庭料理の講習が行われ、普段はあまり馴染みのないベルギー料理を作り、味わいました。

音楽(アート)がもたらした出会い

長久手中学校では、最後にメンバーへのお礼の気持ちを込めて、約20名が琴で「さくらさくら」を演奏、南中学は、メンバーの演奏にあわせて「フィンランディア賛歌」を合唱。まさに、音楽(アート)を通して人と人が出会う“であーと”の瞬間でした。そして、約4~5時間にもわたる、「ラ・テンペスタのおんがく教室」は、延べ400名もの生徒たちが間近で音楽を体験して終わりました。

もしかしたら、一生に一度かもしれないこのような体験ですが、この記憶が生徒たちの中に確かなものとして刻まれることができたら、と思います。そして将来、どのような形で芽を出すのでしょうか…。とにかく、種蒔きは始まったばかりです。



**長久手オペラvol.15
長久手オペラ・ガラコンサート**

15回目を迎えた長久手オペラが「セヴィリアの理髮師」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ボエーム」「フィガロの結婚」「魔弾の射手」から名場面をコンサート形式でお届けします!

- 【と き】 11月13日(日) 午後3時開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 前売：一般2,000円、フレンズ1,500円、学生1,000円、
当日：一般・フレンズ2,500円、学生1,500円(全自由席)
- 【対象】 小学生以上
- 【その他】 前売完売の場合、当日券はありません。

提携事業

踊りに行くぜ!! vol.6

2000年から始まった「踊りに行くぜ!!」も、今年で6回目の開催となります。本プロジェクトは、全国各地でダンスアーティストが育ち、ダンスをとりまく環境が発展していくことを目的に行っています。

- 【と き】 11月19日(土) 午後7時から
- 【ところ】 風のホール
- 【出演】 タナカアリフミ、高木理恵(以上、名古屋)、伊藤 愛(神戸)、赤丸 急上昇(松山)、丹野賢一(東京)
- 【料金】 前売：一般2,500円、フレンズ2,000円、学生1,500円
当日：一般・フレンズ3,000円、学生2,000円
- 【対象】 小学生以上
- 【主催】 長久手町、JCDN(NPO法人 Japan Contemporary Dance Network)
- 【制作協力】 愛知公演実行委員会
- 【協力】 名古屋学芸大学

提携事業

エルnst・オッテンザマーと仲間たち!

ウィーン・フィルの首席クラリネット奏者エルnst・オッテンザマー。世界トップレベルのアーティストとその仲間による共演をお楽しみください。

- 【と き】 11月18日(金) 午後7時開演(午後6時30分開場)
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 一般4,000円、フレンズ3,600円、高校生以下2,500円(全自由席)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
- 【出演】 エルnst・オッテンザマー(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 首席クラリネット奏者)
武本京子(愛知教育大学教授 ピアノ)
井上京(名古屋フィルハーモニー交響楽団 クラリネット奏者)
- 【主催】 長久手町 武本京子楽曲イメージ研究会

事業倶楽部事業

まほろばパストラルコンサート

気軽に楽しめるクラシックコンサートです。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

- 【と き】 11月19日(土) 午後2時開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 前売：一般2,500円、フレンズ2,200円、学生1,000円
当日：一般・フレンズ3,000円、学生1,200円、(全自由席)
- 【出演】 伊藤優子、池谷有美、佐藤有里、野田美津枝、樋上狂一、樋上真理子
- 【曲目】 カンタータBWV51(J.S.バッハ作曲)、ラ・ヴァルス(ラヴェル作曲)、
2つのルーマニア舞曲(バルトーク作曲)ほか
- 【主催】 長久手町 まほろば事業倶楽部
- 【後援】 愛知県教育委員会

事業倶楽部事業

山田耕筰の世界 ～構成・川口耕平～

「赤とんぼ」や「この道」の作曲家として名高い山田耕筰。懐かしさとともに、今なお色あせない美しさを持つ山田耕筰の世界をお楽しみください。

- 【と き】 12月2日(金) 午後6時30分開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 一般2,500円、フレンズ2,000円、中学生以下1,500円、(全自由席)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
- 【出演】 渡部千枝(ソプラノ)、鳴海卓(バリトン)、清水睦子(語り)ほか
- 【主催】 長久手町、「日本のすぐれた詩人と作曲家による作品を聞く会」事業倶楽部

長久手子ども劇場

むごん劇かんばんに公演「パントマイムサーカス」

- 【と き】 12月3日(土) 午後5時開演(午後4時30分開場)
- 【ところ】 長久手文化の家 森のホール
- 【入場料】 前売：一般900円、フレンズ800円、中学生以下(3才以上)500円
当日：一般・フレンズ1,000円、中学生以下(3才以上)500円(全自由席)
- 【出演】 むごん劇かんばんに、ミッシェル、いはらつとむ、ほんだあいや

長久手子ども劇場 関連企画

パントマイムサーカスワークショップ

～体験してみよう、もっと身近に1日サーカス～

- 【と き】 12月4日(日) 午前10時～午後0時ごろ
- 【ところ】 森のホール
- 【出演者】 パントマイムサーカス、ジャグリング、つなわり
- 【対象】 小学3年生以上(親子参加も歓迎です!)
- 【定員】 30人(先着順)
- 【受講料】 500円
- 【申込方法】 11月1日(火)から文化の家で受付、11月2日(水)からは電話申込可。
- 【その他】 動きやすい服装、シューズで来て下さい。

提携事業

**愛知県立芸術大学大学院オペラ
「カルメン」(日本語上演)**

これぞ、オペラ入門の決定版!舞台装置、衣装、オーケストラを備え、日本語だからストーリーも明解。今回はオペラの最高傑作の一つ「カルメン」をお楽しみください。

- 【と き】 12月10日(土) 午後5時開演・12月11日(日) 午後2時開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 一般1,500円、フレンズ1,200円(全自由席)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
- 【指揮】 工藤俊幸
- 【演出】 たかべしげこ
- 【出演】 愛知県立芸術大学大学院生 ほか
- 【主催】 長久手町 愛知県立芸術大学

**フレンズのつどい Part.14
クリスマス・パーティー ～しゃる うい だんす～**

- 【と き】 12月18日(日) 午後2時開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 一般1,500円、フレンズ1,000円(会員1名に付き1枚まで)
- 【主催】 長久手文化の家フレンズ

クリスマスファミリーコンサート ～音楽のおとどけもの～

クリスマスソングの演奏やクリスマスにちなんだお話の朗読など内容盛りだくさん!クリスマスの楽しいひとときを一緒に過ごしましょう!!

- 【と き】 12月23日(金・祝) 午後3時開演
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 入場無料(全自由席/要整理券)
- 【出演】 横田真規子(ヴァイオリン/文化の家創造スタッフ)
宇佐美敦博(フルート/文化の家創造スタッフ)
市橋あゆみ(ピアノ) 座★NAGAKUTE団員(朗読) ほか

映像鑑賞会

「風のホール」では話題作を入場料500円(定員250名・先着順)で上映し、「光のホール」では名作を無料(定員100名・先着順)で上映します。

- 【風のホール】上映作品
上映時間：午前10時～午後2時30分～(開場は上映の30分前)
定員：250人(先着順。定員になり次第、受付を終了します)
入場料：500円
前売券：上映日前月の第1土曜日 フレンズ先行発売
第2土曜日 一般発売

- 1月14日(土) 「永遠のマリアカラス」
(2002・伊・仏・英・ルーマニア・スペイン) 108分

- 【光のホール】上映作品
上映時間：午前10時～午後2時30分～(開場は上映の30分前)
定員：100人(先着順。定員になり次第、受付を終了します)
入場料：無料

- 11月13日(日) 「裏窓」(1954・米) 113分
- 12月17日(土) 「サイコ」(1960・米) 109分
- 2月11日(土・祝) 「ニューシネマパラダイス」(1989・伊) 124分
- 3月19日(日) 「アパートの鍵貸します」(1960・米) 121分

◆チケット購入方法◆

- 公演チケットは、文化の家、アピタ長久手店2階長久手町サービスコーナー(Nピア)、チケットぴあでお買い求めいただけます。
- 文化の家チケット専用電話 0561-61-2888
- 長久手町サービスコーナー(Nピア)(アピタ長久手店2階) 0561-63-9200
- チケットぴあ 0570-02-9999
- ※文化の家では電話予約もできますが、代金を1週間以内にお支払いいただくか、現金書留で送金してください。

フェスティバル

第7回 長久手町文化の家フェスティバル

文化の家利用者が一堂に会し、日頃の活動を披露するとともに利用者間の交流を深めます。

●舞台部門 〈入場無料〉

11月26日(土) 午後1時開演 風のホール
11月27日(日) 午後2時開演 森のホール
内容：室内楽、合唱、ダンス、バレエ など

●展示部門 〈入場無料〉

11月22日(火)～27日(日)
展示室
内容：絵画、染色、ラッピング、陶器 など

●パフォーマンス部門 〈要参加費〉

11月26日(土)・27日(日)
1回目：10:00～ 2回目：14:00～
食文化室、美術室
内容：藍染め・草木染め体験教室、
陶器ペイント体験教室
※11月1日(火) から申込み受付(先着順)



第3回 長久手町文化の家バンドフェスティバル 〈入場無料〉

12月4日(日) 午後1時開演
風のホール
内容：軽音楽



第2回 吹奏楽フェスティバル in NAGAKUTE

各団体の演奏のほか、出演者全員による合同演奏を行います。長久手に根付く音楽の力強さを披露し、昨年度大反響を得た吹奏楽フェスティバル。今年もお楽しみに!!

【とき】1月22日(日) 午後1時開演

【ところ】森のホール

【入場料】入場無料(要整理券)

【出演】長久手中学校吹奏楽部
南中学校吹奏楽部
長久手高校吹奏楽部
栄徳高校吹奏楽部
愛知県立大学吹奏楽サークル
煌(きらめき)

【指揮】長尾洪基(長久手町在住)

【編曲】市橋あゆみ(長久手町在住)

平成17年度フレンズ会員募集

平成17年度文化の家フレンズの会員を下記のとおり募集しています。

●会費●

個人会員	年額1,500円 (ただし、10月1日以降の入金の場合は1,000円)
家族会員 (個人会員と住所を同じくする家族)	年額1,000円 (ただし、機関紙・事業案内などの郵送は省略させていただきます)
法人・グループ会員	年額15,000円 (ただし、10月1日以降の入金の場合は10,000円)
※会員の有効期限は、4月1日から翌年の3月31日までです	
年度の途中で入金する場合は、入会日から最初に訪れる3月31日までになります	

●特典●

1	文化の家自主事業チケットの割引 (10%程度割引、会員1人につきチケット2枚まで、法人・グループ会員は20枚まで)
2	文化の家自主事業公演チケットの先行発売
3	機関紙、情報誌、事業案内などの刊行物郵送
4	フレンズが行う文化事業、交流事業への参加

【申込方法】文化の家事務室にて、住所、氏名、電話番号を記入の上、年会費を添えてお申し込みください。

編集後記



酷暑がつづいた9月初めの4日間、文化の家は「日本劇作家大会」で演劇一色に彩られた。著名な劇作家や俳優たちも参加したシンポジウムやワークショップ、朗読劇など多彩なプログラムのほかに、夜には短編劇のコンテストが繰り広げられた。

九州や東北、韓国からの劇団も含めた12の劇団がコンテストに参加し、毎夜に4劇団が競って一勝者が選ばれる。4日目の最終日にはこの予選に勝ち残った3劇団が、昨年の優勝者(劇王)と競って新しい劇王が決まる。決勝戦はもとより、連夜の予選の審査には観客全員に一票が与えられ、満席の会場に一段と熱がこもった。

一層興味をひいたのは「落武者シンポジウム」

のことである。毎夜の予選に落ちた劇団は翌朝一番に開かれるこのシンポジウムに全員参加することが義務づけられていた。椅子にかけた観客の前で、この敗者たちは床に座らせられ、ユーモア溢れる司会者のもとで「言い訳」「泣き言」から反省、今後への抱負にいたるまでを「吐かされ」ていた。「初めは弱いものいじめのシンポジウムと思い、参加したくなかったけれど、お陰で元気になって里に帰れます」という遠来の落ち武者の閉めの言葉が、アートの厳しさと良心を偲ばせていつまでも耳に残った。

文化の家館長 川上 實

自主事業のご案内10月～3月

*チケットがまだ発売されていない公演もありますので、詳しくは文化の家までお問い合わせください。

10月

提携事業

長久手フィルハーモニー管弦楽団 第7回定期演奏会 **M**

30日(日)■午後2時30分開演■森のホール

11月

長久手の里美術展2005 **G**

4日(金)～13日(日)■午前10時～午後7時まで(最終日は午後5時まで)■展示室

長久手オペラvol.15

長久手オペラ・ガラコンサート **M**

13日(日)■午後3時開演■森のホール

提携事業

エルンスト・オッテンザマーと仲間たち！ **M**

18日(金)■午後7時開演■森のホール

事業倶楽部事業

まぼろばパストラルコンサート **M**

19日(土)■午後2時開演■森のホール

提携事業

踊りに行くぜ！！vol.6 **D**

19日(土)■午後7時開演■風のホール

第7回長久手町文化の家フェスティバル

○展示部門

22日(火)～27日(日)■展示室

○舞台部門

26日(土)■午後1時開演■風のホール

27日(日)■午後2時開演■森のホール

○パフォーマンス部門

26日(土)■食文化室・美術室 1回目:10:00～ 2回目:14:00～

27日(日)■食文化室・美術室 1回目:10:00～ 2回目:14:00～

12月

事業倶楽部事業

山田耕筰の世界～構成・川口耕平～ **M**

2日(金)■午後6時30分開演■森のホール

平成17年度長久手町文化の家 絵画コンクール **G**

(高校生/一般の部)受賞・入選作品展

2日(金)～11日(日)■午前10時～午後7時まで(最終日は午後5時まで)■展示室

長久手子ども劇場

むごん劇かんばんに公演「パントマイムサーカス」 **P**

3日(土)■午後5時開演■森のホール

第3回長久手町文化の家 バンドフェスティバル **M**

4日(日)■午後1時開演■風のホール

愛知県立芸術大学大学院オペラ

「カルメン」日本語上演 **M**

10日(土)■午後5時開演■森のホール

11日(日)■午後2時開演■森のホール

フレンズのつどいPart14 クリスマスパティー **M**

～しゃる うい だんす～

18日(日)■午後2時開演■森のホール

クリスマスファミリーコンサート **M**

～音楽のおとどけもの～

23日(金・祝)■午後3時開演■森のホール

1月

第2回吹奏楽フェスティバル in NAGAKUTE **M**

22日(日)■午後1時開演■森のホール

2月

初笑い ながくて寄席 **O**

5日(日)■午後2時開演■森のホール

長久手町合唱団

ニューセンチュリーコーラスNagakute 第8回 定期演奏会 **M**

19日(日)■午後2時開演■森のホール

長久手町劇団

座★NAGAKUTE第13回定期公演 **P**

「ねこ・こんさるたん」と

25日(土)■午後7時開演■風のホール

26日(日)■午前11時/午後3時開演■風のホール

3月

ブリュッセル弦楽四重奏団と
アレクサンドロ・ドゥプリュ(チェロ)の
ジョイントコンサート(仮) **M**

3日(金)■午後7時開演■風のホール

事業倶楽部事業

ハーブ&ピアノ メゾ・ソプラノと共に **M**

4日(土)■午後2時開演■風のホール

長久手ダンスシアターIII **D**

4日(土)■午後7時開演■風のホール

5日(日)■午後4時開演■風のホール

アートリビング講座発表会 入場無料 **O**

○展示の部

3月7日(火)～12日(日)午前10時～午後5時■展示室

参加講座：リフォーム、絵画、機織り、フラワーデコレーション、陶芸、

日本画、写真、子ども美術

○舞台の部1〈戯曲セミナー優秀短編上演会〉

3月11日(土)午後7時開演(午後6時30分開場)■風のホール

参加講座：戯曲セミナー

○舞台の部2

3月12日(日)午後1時30分開演(午後1時開場)■森のホール

参加講座：フルート、バイオリン、クラシックバレエ

長久手子ども音楽劇場

藤原歌劇団によるファミリーコンサート **M**



長久手町文化の家 情報誌

Autumn 2005 vol.22

発行/長久手町

編集/長久手町文化の家

長久手町文化の家

〒480-1131

愛知県愛知郡長久手町大字長湫字野田農94番地1

お問合せ=tel.0561-61-3411/fax.0561-61-2510 チケット専用=tel.0561-61-2888

http://www.bunka.nagakute.aichi.jp

休館日 = 月曜日(祝祭日の場合は翌日)および年末年始

開館時間 = 午前9時～午後10時

交通アクセス

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分
- 地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス5番乗り場、長久手郵便局下車、徒歩8分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、N-バス [Cルート]長久手郵便局下車、徒歩8分
[Fルート]文化の家下車すぐ
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、西島下車徒歩5分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分

M 音楽 **D** ダンス **G** 展示 **P** 演劇 **O** その他

